



# 慶應義塾大学出版会

## 新刊案内

2020

6月

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。



## テロリズムとは何か



〈恐怖〉を読み解くリテラシー

小林良樹 (明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科特任教授、元内閣官房内閣審議官) [著]

### ココに注目!

- ・テロ対策のプロフェッショナルが、テロリズムの実体を解説。
- ・「テロ」を定義することの社会的重要性について考える。

凄惨な大量殺人、店員によるバイトテロ——。こうした事件は、本当にテロなのか。本書は、元テロ対策の実務家で、研究者である著者が、テロの歴史からその発生メカニズム、最近の国内外の事案やテロ対策の動向について分かりやすく解説。「テロ」を定義づけることの社会的な意味について考える。

本体予価 **2,700 円** 四六判上製 / 336 頁

ISBN 978-4-7664-2680-9 C0031

対象：政治、国際情勢に関心がある一般読者

部数：★★★★

配本予定：6月上旬

### 【営業部からのおすすめポイント】

テロリズムの問題は、現在世界中で流行している新型肺炎のそれと似ているところがあると、著者は指摘します。つまり、人々がその実体を知り、必要以上に怖がらないこと、また冷静に議論が出来るようになることが、一番の抑止策になるということです。人のグローバルな移動が当たり前となった今、私たちがテロやその恐怖とどう向き合うべきかを、テロ対策のプロ中のプロが解説します。ご期待下さい！ (中井)



# 「競争」は社会の役に立つのか

## 競争の倫理入門



平積み

クリストフ・リュトゲ (ミュンヘン工科大学教授) [著] / 嶋津格 (千葉大学名誉教授) [訳]

### 🔍 ココに注目!

- 社会における「競争」の意義について「倫理的」に肯定する。
- フェイスブックが出資する AI 倫理研究所所長が、いま必要な「競争」を語る!

近年、グローバル資本主義への懐疑から市場競争への批判が高まっている。しかし、競争のメリットは経済にとどまらない。哲学・倫理学における「競争」の評価や、環境問題・教育・介護・政治・イノベーションにわたる広範な競争の役割を論じる。

本体予価 **2,200 円** 四六判上製 / 216 頁

ISBN 978-4-7664-2638-0 C0033

対象：一般 (資本主義、ビジネス倫理に興味のある層)

部数：★★★★★

配本予定：6 月中旬

📖 類書 エリック・A・ボズナー、E・グレン・ワイル  
「ラディカル・マーケット」(東洋経済新報社)

### 【営業部からのおすすめポイント】

近年、市場競争に批判的な書籍が数多く刊行されていますが、本書の著者リュトゲ教授はそれらの考え方を真っ向から否定します。競争を倫理的に「正しくない」と考えることは、(ゼロサム的な考えに囚われて) その本質を見誤っており、競争が社会に有用であることを環境問題、教育問題、介護問題など様々な事例をもって解説します。競争という語に否定的なイメージを持っている人には、特に読んでいただきたい一冊です。 (乙子)

### 【原著者紹介】

#### クリストフ・リュトゲ (Christoph Rütge)

ミュンヘン工科大学教授。哲学、倫理学、ビジネス・エシックス等の応用倫理の専門家。自動車の自動運転にまつわる先端的倫理問題も扱い、産業界からも注文を浴びている。共著に実験倫理学の論集もある。2019 年 1 月ミュンヘン工科大学 AI 倫理研究所の所長に就任。

※本書は、2019 年 10 月号にて、11 月イチ押し新刊としてご案内を差し上げておりますが、刊行が大幅に遅れたため再案内いたします。お手数ですが、再度のご発注を何卒お願いいたします。



# 竹内楠三『真理探究者たち』

日本近代思想の伏流を読む

返品条件付  
注文品

竹内楠三（明治大正期の文筆家、教育者）[著]／岩下真好（元慶應義塾大学法学部教授）[訳]  
片山杜秀（慶應義塾大学法学部教授）[解説]

📖 ココに注目！

- ・忘れられた文筆家の小説から、明治大正期の日本思想を読み解く。
- ・片山杜秀氏による解説付き。

明治大正期に文筆家として知られた竹内楠三は、その晩年、みずからの思想をドイツ語小説という形で残した。その小説は、当時の日本の現実とあるべき姿について西洋の文化や思想との対比のもとに論じており、最終的には西欧思想の限界をも超えた「真理探究法」へと収斂していく――。

本体予価 **5,000 円** 四六判上製／192 頁  
ISBN 978-4-7664-2687-8 C3010

対象：一般（明治大正期の日本思想に興味がある読者）

部数：★

配本予定：6月下旬

📖 類書 藤田正勝『日本哲学史』（昭和堂）



# スターリン時代の記憶

または

ソ連解体後ロシアの歴史認識論争



立石洋子（成蹊大学法学部助教）[著]

📖 ココに注目！

- ・スターリンとは何者だったのか。
- ・独ソ戦はロシアの人びとに何をもたらしたのか。

歴史教育と歴史教科書をめぐる論争を検討することにより、いまだ知られていないロシアにおけるソ連時代の歴史認識論争を描き出す。さらに、大規模抑圧や内戦といった暴力を経験した共同体が、いかに国家を再建し、民主主義を構築しようのかという問題を考察する。

本体予価 **4,500 円** A5 判上製／368 頁  
ISBN 978-4-7664-2681-6 C3022

対象：（ロシア史を専攻する）研究者・大学院生

部数：★★

配本予定：6月下旬

📖 類書 橋本伸也『記憶の政治―ヨーロッパの歴史認識論争』（岩波書店）

---

## 今月の別刷り注文書のご案内



下記の書目については、それぞれ同封の別紙（A4判色紙）にて詳細をご案内いたしますので、書籍内容はそちらで御確認いただければ幸いです。なお、注文用紙（短冊一覧）と別紙の双方に注文欄がございますが、どちらに記入していただいても構いません。

注文数が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。



### 芸術とその対象

リチャード・ウォルハイム 著／松尾大 訳

本体予価 **4,200 円** 四六判上製／312 頁 ISBN 978-4-7664-2684-7 C3010



### 美しい日本語 荷風 Ⅲ 心の自由をまもる言葉

永井荷風 著／持田叙子・高柳克弘 編著

本体予価 **2,700 円** 四六判上製／208 頁 ISBN 978-4-7664-2618-2 C0395

